

活動事例集

＜秋田県市町村身体障害者協会＞

平成27年3月

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

「活動事例集」の発行にあたって

当協会に設置していた「会員減及び県協会負担金に係る検討委員会」から、平成25年11月に「市町村協会における会員数の減少対策の一環として、各市町村協会の取り組み状況を活動事例として集約し、県全体で情報を共有できるよう努めること」との答申がありました。

このことから、当会の依頼により各市町村協会では原稿作りに取り掛かり、今般、発行となりましたが、ご多用の中、ご協力いただきました各市町村協会に対し深く感謝申し上げます。

この「活動事例集」の作成は、完成以降の活用が本来の目的でありますので、各市町村協会の好例を適宜参考とし、当該地域の事情に見合った工夫も交えて、新たな事業の掘り起しに挑戦していただきたいと考えています。

ただ、県協会で一様に決めた様式のため、活動内容が十分に表現できなかった事例や、まだ提出されていない様々な宝物（事例）、秘策（方法）があるかと思えます。

この小冊子は、各市町村協会の貴重な情報を得るための入口の「鍵」でありますので、この「鍵」を使用して協会間の情報を広げることによって、この小冊子以外の情報も得られるなど協会運営の活性化に繋がるものと信じています。

どうか、大いにご活用ください。

平成27年3月

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

会長 伊藤英紀

< 目 次 >

<u>○ 活 動 事 例</u>	頁
1 秋田市	1
2 能代市	11
3 横手市	12
4 大館市	14
5 男鹿市	16
6 湯沢市	18
7 鹿角市	20
8 由利本荘市	23
9 潟上市	30
10 大仙市	35
11 北秋田市	37
12 にかほ市	43
13 仙北市	45
14 小坂町	48
15 上小阿仁村	50
16 藤里町	56
17 三種町	57
18 八峰町	61
19 五城目町	63
20 大潟村	65
21 美郷町	68
22 羽後町	69
23 東成瀬村	73

○ 参 考 資 料

1 H26市町村協会会員数・手帳所持者数・加入率一覧	75
2 H26市町村協会負担金一覧	76
3 市町村協会負担金の年度別推移（H10～H26）	77
※ 「市町村身体障害者協会< 概要・活動事例集> 作成要項」	78

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	秋田市身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒010-0976 秋田市八橋南1-8-2 老人福祉センター内		
電話番号	018-866-1341	FAX番号	018-865-2099
組織体制 (名称)	①総会 ②三役会(会長、副会長3、事務局長、事務局員1) ③常任理事会(三役他10名) ④理事会(市内23区会で組織、区会長が理事) ⑤各部長会(組織部、総務部、企画部 各部員2~3名)		
H26会員数	434人	手帳所持者数	14,196人 加入率 3.06%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入(単位:千円) 会費434、助成金市社協95・市520、賛助金320、自販機売上350 日身連売上250、繰越金213 2 主な支出(単位:千円) 会議費60、福祉大会60、スポーツ大会等145、機関紙発行95、 慶弔55、事務局経費825、県協会負担金356、役員会旅費309 3 主な事業 第38回福祉大会、第7回スポーツ大会、ゲートボール大会、身障ふれあいのつどい、清掃奉仕6回 ※ 賛助会費特別会計(635千円)、基金会計(1,996千円)		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 有 / 年2回 2 会員の年会費 1,500円(本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 会員・事務員雇用 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	秋田市身体障害者福祉大会	事業開始年度	— 年度								
事業区分	秋田市と共催										
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族・一般障害者・一般市民・社協職員・福祉業者・賛助会員</p> <p>2 実施時期 毎年 6月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 67人・左記以外 27人=合計 94人</p> <p>4 具体的な事業内容 ①会員の交流及び市内の会員以外の障害者との交流 ②会員の体験発表 ③外来講師による講演 ④新規会員の獲得</p>										
事業費	<p style="text-align: center;"><u>152,327 円</u> (市町村等委託・補助金 50,000 円含む)</p> <p>【経費内訳】</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">会場費26,195円</td> <td style="width: 50%;">事務費等雑費7,072円</td> </tr> <tr> <td>謝礼20,000円</td> <td>※参加者負担金1,000円(飲食代他)</td> </tr> <tr> <td>受賞者記念品代20,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>懇親会費79,060円</td> <td></td> </tr> </table>			会場費26,195円	事務費等雑費7,072円	謝礼20,000円	※参加者負担金1,000円(飲食代他)	受賞者記念品代20,000円		懇親会費79,060円	
会場費26,195円	事務費等雑費7,072円										
謝礼20,000円	※参加者負担金1,000円(飲食代他)										
受賞者記念品代20,000円											
懇親会費79,060円											
事例紹介	<p>体験発表者は、退職後の疾病による障害者であったが、その障害を克服し現在民生児童協議会会長、福祉協議会役員等で地域福祉に貢献。視野狭窄という不自由な日常生活の中で協会の会員獲得のため奔走した内容で、参加者に深い感銘を与えた。 (内容は「よつばnet」に発表)</p> <p>外来講師による講演は、当協会車いす部会の安杖氏の介助犬の話で、盲導犬とは異なる点等会員の興味を誘い、強い感動を与えた。※当日は代理者による発表 (内容は「よつばnet」に発表)</p>										

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	秋田市身障ふれあいの集い	事業開始年度	昭和45 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・来賓：秋田市、社協</p> <p>2 実施時期 毎年 12月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 46人・左記以外 2人=合計 48人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) ①会員が集い飲食(アルコール有)し親睦を深める ②アトラクション(モコ&キューズ) ③カラオケ ④お楽しみ抽選会 ※会場：秋田市 ふきみ会館</p>		
事業費	242,719 円 (市町村等委託・補助金 円含む)		
	<p>【経費内訳】 飲食代216,000円(会場費含) 謝礼21,000円(アトラクション15,000 手話通訳1,000 車代行代5,000円)事務雑費5,719円 ※参加者負担一人4,000円(飲食代、車代)</p>		
事例紹介	<p>会員相互の親睦と交流を主体としたお楽しみ会(忘年会)である。 毎年アトラクションとして、音楽関係や手品等を行うボランティア団体に依頼し、経費の軽減を図っている。 実行委員会(部会)を編成、企画立案で毎年趣向を変えるようにしている。 参加者の障害程度による会場の選定に苦慮している(できるだけ低額な会場と)。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	合同交流研修会	事業開始年度	平成10年度
事業区分	協会単独		
事業内容	1 参集対象者 会員 2 実施時期 毎年 7月頃 3 前回参加人員(概数) 会員 18人 4 具体的な事業内容 ①県内施設の視察研修 ②会員相互の交流及び親睦を深める ③県農業科学館で研修、大仙市「さくら荘」で交流会		
事業費	85,570 円 (市町村等委託・補助金 円含む) 【経費内訳】 懇親会費83,010円 高速料金2,560円 ※参加者負担金1人3,500円		
事例紹介	<p>本来この事業は、単独でレクリエーション等実施不可能な少人数の区会を対象にしていたが、現在は協会全体の研修を含めたレクリエーションとなった。普段なかなか外出できない会員からは好評であるが、参加者が少ないのが気がりである。魅力ある内容になるよう努力している。車イス会員のため、県福祉相談所のバス、または秋田市社協のマイクロバスを借上げ利用している。</p> <p>秋田市では、障害者団体や高齢者団体等利用のための福祉バスが無いのが残念である。しかし、市社協では市民のため障害者の外出時の軽自動車、マイクロバス等の貸出制度があるので、今後積極的に活用したい。ただ、運転手は利用者側で用立てしなければならないことが難点である。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	秋田市障がい者スポーツ大会	事業開始年度	平成20 年度
事業区分	秋田市と共催		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・一般障害者</p> <p>2 実施時期 毎年 9月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 40人・会員家族 5人＝合計 45人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) ①会場：県勤労身障者スポーツセンター ②種目：グランドゴルフ、ポッチャ、輪投げ等の軽スポーツ</p>		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>17,945 円</u> (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 賞品代2,376円(ホールインワン賞のみ、入賞者賞品代は市で負担) 食料費4,503円 事務雑費9,216円 障害保険料1,850円 ※参加者負担なし</p>		
事例紹介	<p>発足当初は、ゲートボールを主体に秋田市と共催で実施していたが、グランドゴルフの愛好者の増加や秋田市の予算の関係から現在の種目となった。</p> <p>平成20年からグランドゴルフの他にポッチャ等軽スポーツを加え、より参加者の増加を図り効果を出した。将来は、軽スポーツ部門をもっと増やしたい。その手始めとして今年度中にフロアカーリングの講習会を計画している。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	障がい者スポーツ教室（水泳）	事業開始年度	平成15 年度
事業区分	秋田市からの委託		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・一般障害者</p> <p>2 実施時期 毎年 6月から9月まで毎週1回 計10回コース（1回1時間）</p> <p>3 前回参加人員（概数） 会員 3人・一般障害者 25人＝合計 28人</p> <p>4 具体的な事業内容（簡潔に簡条書きで記載） ①障がい者スポーツの振興と交流を図る ②水泳の基礎から競技まで幅広い分野での練習</p>		
事業費	297,000 円 (市町村等委託)		297,000 円含む)
	<p>【経費内訳】</p> <p>講師・ボランティア謝礼182,000円</p> <p>県総合プール使用料43,260円</p> <p>事務局費35,000円</p> <p>事務費雑費36,740円</p> <p>※参加者負担無し</p>		
事例紹介	<p>障害者の水泳愛好者の底辺拡大 水泳の前は卓球を行っていた（平成8年～14年）が、このスポーツ教室が初体験であっても、参加を契機として練習に励み、身障者国体への出場者が出ている。 最近の傾向としては毎年同じメンバーや知的障害者に偏りがちであることから、他障害の参加があればと考えている。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	秋田市障害者ゲートボール大会	事業開始年度	平成20 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・秋田市手話研究会有志・上北手地域高齢者</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 34人・会員家族 4人・左記以外 13人=合計 51人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) 種目 ゲートボール競技 会場 秋田市勝平ゲートボール場</p>		
事業費	<p style="text-align: center;">25,000 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 賞品代18,000円(参加賞含む) 食料費1,500円 事務費、雑費3,500円 障害保険料2,000円 ※参加者負担無し</p>		
事例紹介	<p>秋田市と共催で秋田市障がい者スポーツ大会としてグランドゴルフ、軽スポーツを主体として行うことが決定した時点で、当協会としてゲートボール大会を単独で独立した大会として残した。この大会の特色は、他参加者として秋田市手話研究会の有志や地域高齢者のゲートボール愛好者(上北手)と一緒にゲームすることである。他チームはオープン参加であるが、参加記念品の他、今年度は感謝状を贈呈し、感謝の意を表した。会員の獲得と障害者ゲートボール愛好者の底辺の拡大と充実を目指している。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	手話奉仕員養成講座	事業開始年度	平成10年度
事業区分	秋田市から委託		
事業内容	<p>1 参集対象者 一般市民</p> <p>2 実施時期 毎年 5月から12月まで47回(1回2時間)</p> <p>3 前回参加人員(概数) 合計 29人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) ①手話で日常会話ができる人の養成 ②その後、市民レベルでの手話ボランティア活動</p>		
事業費	<p style="text-align: center;">720,000 円 (市町村等委託) 720,000 円含む)</p> <p>【経費内訳】</p> <p>講師謝礼321,000円 ※参加者負担(テキスト代)1人3,500円</p> <p>通訳謝礼318,000円</p> <p>会議費12,738円</p> <p>印刷・消耗品代22,087円</p> <p>事務費55,175円</p>		
事例紹介	<p>手話奉仕員の養成と拡大</p> <p>今年度で16回目であり、入門課程では511名、基礎課程では368名の修了者を出している。将来は手話通訳者としての足掛かり、その後の活躍を期待している。</p> <p>毎年修了者の50%は秋田市手話研究会に所属、仲間同士で手話の訓練に励んでいるが、当協会として彼等との意思疎通があるので、当協会の行事にはボランティアとして依頼、恩恵に与っている(他県障害者ゲートボール協会事業)。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	機関紙「よつばnet」(身障だより)発刊	事業開始年度	平成24年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 配付対象者 会員・一般障害者・一般市民</p> <p>2 実施時期 毎年5月と10月頃 2回</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 人・会員家族 人・左記以外 人=合計 人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) ①協会並びに関係機関の直近情報の提供 ②行事等に参加できない会員への情報伝達 ③新規会員の獲得材料 ④発行部数 1回700部(現在65号) ※前身の「身障便り」は昭和54年6月から発行</p>		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>100,000</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 発行費1回50,000円 (編集割付等は当協会編集部で行う) 印刷依頼先 秋田ワークセンター</p>		
事例紹介	<p>会員への協会活動状況の周知 新会員の獲得活動(市内関係機関に置いてもらい、市民の理解を得る)</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：秋田市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	協会案内パンフ「みんなで楽しく」(改訂版)	事業開始年度	平成10年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族・一般障害者・一般市民・議会行政</p> <p>2 実施時期 通年</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 人・会員家族 人・左記以外 人=合計 人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) ①協会役員の紹介並びに事業内容 ②入会の案内 ③発行部数 年間500部程度</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">10,000 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 発行 1部20円 原版 協会で編集・製作 印刷 カラー印刷(秋田市社協)</p>		
事例紹介	<p>新会員の獲得活動に活用(市内関係機関に置いてもらい、市民の理解を得る)</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	能代市身体障害者福祉協会		
所在地 (事務局)	〒018-3143 能代市二ツ井町字太田面12-3		
電話番号	0185-73-5660	FAX番号	0185-73-5856
組織体制 (名称)	総会(全体、能代支部、二ツ井支部) 理事会(//) 役員会(//)		
H26会員数	300人	手帳所持者数	3,188人 加入率 9,41%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入(単位:千円) 会費60(能代・二ツ井支部で折半)、助成金:市社協160・市221、 繰越金11 2 主な支出(単位:千円) 会議費40、事業費221(能代・二ツ井支部で折半)、事務費20、 県協会負担金80 3 主な事業 スポーツ教室、福祉大会		
その他 (特記事項) 該当事項に○付ける	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費 1,000円・1,500円(本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 会員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	横手市身体障害者福祉協会連合会		
所在地 (事務局)	〒013-0072 横手市卸町5-10 横手市社会福祉協議会本部内		
電話番号	0182-36-5377	FAX番号	0182-36-5388
組織体制 (名称)	理事会、評議員会、青年部		
H26会員数	1,090人	手帳所持者数	5,137人 加入率 21,22%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入（単位：千円） 会費240、補助金：市社協524、事業収入（評議員会参加費@3千円、スポーツ教室昼食代@200円）、繰越金344</p> <p>2 主な支出（単位：千円） 会議費160、福祉大会220、広報費30、助成金：各支部544、青年部20、旅費90、事務費90、県協会負担金128</p> <p>3 主な事業 スポーツ教室、福祉大会、協会加入用チラシの配布（地域振興局窓口）</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費 1,000~1,200円（本部・支部に会員が負担する合計金額）</p> <p>3 協会事務担当者 社協職員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：横手市身体障害者福祉協会連合会

(実施支部名)

事業名	横手市身体障害者福祉大会	事業開始年度	— 年度							
事業区分	協会単独									
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 10~11月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 146人・左記以外 41人=合計 187人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載)</p> <p>①市身障協会長表彰 ②体験発表 ③青年部活動PR ④アトラクション</p> <p>来賓として、市長、市議会議長、市選出県議会議員、市議会厚生常任委員、県身障協会長、市社協会長に案内。司会進行は青年部員。手話通訳者2名の派遣を市に依頼。</p>									
事業費	140,550 円		(市町村等委託・補助金 円含む)							
	<p>【経費内訳】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">通信運搬費3,000円</td> <td style="width: 50%;">表彰関係18,856円</td> </tr> <tr> <td>音響機材一式30,000円</td> <td>消耗品19,027円</td> </tr> <tr> <td>記念品25,500円</td> <td>その他36,899円</td> </tr> <tr> <td>謝礼7,268円</td> <td style="text-align: right;">※参加者負担 弁当代</td> </tr> </table>			通信運搬費3,000円	表彰関係18,856円	音響機材一式30,000円	消耗品19,027円	記念品25,500円	その他36,899円	謝礼7,268円
通信運搬費3,000円	表彰関係18,856円									
音響機材一式30,000円	消耗品19,027円									
記念品25,500円	その他36,899円									
謝礼7,268円	※参加者負担 弁当代									
事例紹介	<p><連合会の取組み></p> <p>市役所へ身障手帳交付時に、身障協会加入用チラシの配布を依頼している。青年部の活動として、スポーツ交流や施設などへの視察研修を実施している。書き損ハガキの回収で、切手に交換し市内の障がい者施設に寄付している。</p> <p><地区の活動></p> <p>会費集金時に、タオルを配布している。地区協会事業の友愛訪問では、対象者に年会費と同額(千円)の商品券を贈呈している。 ※上記の対象者：会費納入者の中で、寝たきりなどにより事業に参加できない方(各地区役員が把握)</p>									

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	大館市身体障害者協会連合会		
所在地 (事務局)	〒017-0806 大館市字相染沢中岱15-6		
電話番号	0186-43-4428	FAX番号	0186-43-4428
組織体制 (名称)	大館支部(12単協)、比内支部 聴覚部会、視覚部会、車椅子部会		
H26会員数	399人	手帳所持者数	4,627人 加入率 8,62%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入(単位:千円) 会費197、助成金:社協30、市255、自販機400、繰越金147</p> <p>2 主な支出(単位:千円) 会議費90、団体育成費241、事業費214、役員研修費50、 事務局費60、慶弔費30、県協会負担金120</p> <p>3 主な事業 市ボランティアフェスティバル、福祉を高める集い、スポーツ交流会、 役員研修会</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費 1,000円(本部・支部に会員が負担する合計金額)</p> <p>3 協会事務担当者 会員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：大館市身体障害者協会連合会

(実施支部名)

事業名	身体障害者の福祉を高める集い(新年会)	事業開始年度	昭和28 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族・議会行政・手話通訳者</p> <p>2 実施時期 毎年 1月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 66人・会員家族 2人・左記以外 9人=合計 77人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) ①お年玉抽選会(ピンゴ大会にて商品券千円を贈呈) ②カラオケ大会(景品あり) ③大館市生涯学習課主催の市無料出前講座を活用し健康等に関する講演会を開催</p>		
事業費	89,783 円 (市町村等委託・補助金 円含む)		
	<p>【経費内訳】</p> <p>懇親会(飲食代) 抽選会(商品券) カラオケ大会(景品代)</p>		
事例紹介	<p><その他の事業></p> <p>1 卓球バレー練習交流会(月1回) 市障害者地域生活支援事業(グランドゴルフ、フライングディスク、卓球バレー)、 その他(将棋、ビームライフル、室内ゲーム、日帰り小旅行)事業への参加協力 大館市ボランティア連絡協議会への参加協力 行政事業(市ボランティアフィステバル、社会福祉大会)への参加協力</p> <p>2 グランドゴルフ(交流)大会(会費制) ①競技後の昼食場所の移動にバスが無料で利用できる飲食業者を選ぶ ②班編成にて競技(各班にゲームの詳しい会員を配置) ③昼食・懇親会 会場にて成績発表(1~5位景品 以下参加賞) ④参加者負担 1人2,000円(事業費49,600円)</p> <p>3 タンポ(交流)懇談会(会費制) ①会員、市身障協会推薦の市議会議員を交えての会(会員から質問、要望等) ②推薦の市議会議員から各自福祉関連の「市政報告」がある ③参加者負担 1人3,500円、来賓4,000円(事業費240,000円) ④バス送迎は各地区を細かく回ってもらう</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	男鹿市身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒010-0665 男鹿市男鹿中山町字家口10-1		
電話番号	0185-33-3112	FAX番号	0185-33-3112
組織体制 (名称)	理事会、総会		
H26会員数	41人	手帳所持者数	1,884人 加入率 2,18%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入 (単位：千円) 会費41、助成金：市社協50・市60、基金繰入金330、繰越金15</p> <p>2 主な支出 (単位：千円) 会議費110、事業費160、事務局費110、予備費25、 県協会負担金44</p> <p>3 主な事業 軽スポーツ教室 (毎月1回一種目別12回)、卓球バレー練習 (毎月1回) ゲートボール大会、研修旅行</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額)</p> <p>3 協会事務担当者 会員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 無</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：男鹿市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	—	事業開始年度	年度
事業区分	① 協会単独 ② 市町村委託・補助 ③ 社協等との共同 ④ その他 ()		
事業内容	<p>1 参集対象者(該当する全ての事項に○) 会員・会員家族・一般障害者・一般市民・議会行政・その他 ()</p> <p>2 実施時期 毎年 月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 人・会員家族 人・左記以外 人=合計 人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載)</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】</p> <p>※参加者負担の有無と内訳 有・無 参加者の負担部分 弁当代、飲代、車代、</p>		
事例紹介	<p>事業計画書で県協会に報告している以外の事業は何もしていません。(各協会に配布済) 公共交通機関であるバスが不便であり、また役所の車もままならず、それに自家用車を持っている会員が少ないことから、事業を実施するも参加者を集めるのが大変です。</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	湯沢市身体障害者福祉協会連合会		
所在地 (事務局)	〒012-0036 湯沢市字両神15-1 複合施設ぱあとなあ内		
電話番号	0183-72-8107	FAX番号	0183-72-8108
組織体制 (名称)	総会 役員会(理事、監事)		
H26会員数	270人	手帳所持者数	2,773人 加入率 9,74%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入(単位:千円) 会費58、助成金:市200、参加費155、繰越金102 2 主な支出(単位:千円) 会議費15、総会費120、福祉大会180、事務費30、県協会負担金69 予備費77 3 主な事業 スポーツ教室、福祉大会		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費 1,000円(本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 会員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：湯沢市身体障害者福祉協会連合会

(実施支部名)

事業名	湯沢市身体障害者福祉大会	事業開始年度	H18 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 50人・左記以外 9人=合計 59人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載)</p> <p>1 式典 表彰、来賓祝辞、大会宣言、大会決議</p> <p>2 講演 湯沢市福祉事務所長</p> <p>3 交流会</p>		
事業費	<p style="text-align: right;"><u>186,370</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 会場費(ホテル) 交流会飲食代 賞状・額代 ※参加者負担1,500円(弁当代)</p>		
事例紹介	<p>市役所から年間補助 市社協から大会受付等手伝い 市長、議長、議員へ出席依頼</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	鹿角市身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒018-5201 鹿角市花輪字下花輪50 鹿角市社会福祉協議会内		
電話番号	0186-23-2165	FAX番号	0186-23-2850
組織体制 (名称)	理事会、評議員会		
H26会員数	145人	手帳所持者数	1,824人 加入率 9,95%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入 (単位：千円) 会費43、助成金：市社協80・市100、参加費140、繰越金76</p> <p>2 主な支出 (単位：千円) 会議費10、旅費28、大会参加費73、研修費225、県協会負担金52</p> <p>3 主な事業 地区会長会議年4回、地区身障協会総会(4地区)、かづの元気フェスタ 身体障がい者ふれあいのつどい、スポーツ交流会</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費300~1,200円(本部・支部に会員が負担する合計金額)</p> <p>3 協会事務担当者 社協職員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：鹿角市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	身体障がい者ふれあいのつどい	事業開始年度	— 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 32人・左記以外 2人=合計 34人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) 障がい者自らが積極的に社会活動に参加し、心豊かな暮らしを営んでいく生き方ができるように毎年開催。障がい者の社会参加への促進を図ると共に、会員同士の交流を通じて障がい者の住みよい福祉のまちづくりをめざしている。毎年日帰り研修とし、県内はもとより青森県、岩手県方面へ足を延ばし、名所や施設を視察する他、お昼は昼食交流会が開かれ、会員同士和気あいあいと楽しくひと時を過ごしている。</p>		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>128,600</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>昼食代52,000円 ※参加費1人3,000円(弁当、車代)</p> <p>保険料6,800円</p> <p>入館料6,800円</p> <p>バス代63,000円</p>		
事例紹介	<p>年々会員は減少しているが、本つどいは会員が一番楽しみにしている事業である。参加者も多く、何よりも昼食交流会は盛り上がる。新規会員加入は、会員による口コミに頼るところが大きいが、これからも魅力ある事業を展開し、会員の増強につなげていきたい。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：鹿角市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	身体障がい者スポーツ交流会	事業開始年度	平成19年度							
事業区分	協会単独									
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 3月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 32人・左記以外 3人=合計 35人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 障がい者自らが積極的に社会活動に参加することにより、健康で生きがいのある生活を営んでいくことを目的にスポーツ交流会を毎年開催。交流会ではボッチャ、スマイルポーリング、スカットボール、フライングディスク、ジェンガなどの軽スポーツを通じて、健康づくりと仲間づくりを進めている。</p>									
事業費	61,797 円 (市町村等委託・補助金 円含む)									
	<p>【経費内訳】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">競技用品20,000円</td> <td style="width: 50%;">飲み物代3,500円</td> </tr> <tr> <td>保険料980円</td> <td>ガソリン代1,617円</td> </tr> <tr> <td>バス代14,700円</td> <td style="text-align: right;">※参加者負担1人500円</td> </tr> <tr> <td>昼食代21,000円</td> <td></td> </tr> </table>			競技用品20,000円	飲み物代3,500円	保険料980円	ガソリン代1,617円	バス代14,700円	※参加者負担1人500円	昼食代21,000円
競技用品20,000円	飲み物代3,500円									
保険料980円	ガソリン代1,617円									
バス代14,700円	※参加者負担1人500円									
昼食代21,000円										
事例紹介	<p>「冬場の運動不足の解消を」と始めたスポーツ交流会であるが、参加者は一緒に思い思いに好きな競技に取り組んでいる。身体障がい者の他、聴覚障がい者、視覚障がい者も参加し、時にはハッスルプレーも飛び出すなど、楽しいひと時を過ごしている。</p>									

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	由利本荘市身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒015-8501 由利本荘市尾崎17 由利本荘市福祉事務所内		
電話番号	0184-24-6314	FAX番号	0184-24-0480
組織体制 (名称)	総会 支部長会 役員会		
H26会員数	503人	手帳所持者数	4,532人 加入率 11,10%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 (単位：千円) 会費75、助成金：市213、負担金16 (スポーツ交流会2千円×8支部) 繰越金15 2 主な支出 (単位：千円) 会議費30、事務費10、役員視察研修・施設訪問費15、スポーツ交流会・ 福祉大会150、県協会負担金112 3 主な事業 正副会長会議、支部長会議年3回、スポーツ教室、スポーツ交流会、福祉大会		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費 1,000~1,500円 (本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 役場職員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：由利本荘市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	由利本荘市身体障害者福祉大会	事業開始年度	平成17年度
事業区分 ※該当事項に○	協会単独		
事業内容	1 参集対象者 会員・会員家族 2 実施時期 毎年 11月頃 3 前回参加人員(概数) 会員 80人・左記以外 20人＝合計 100人 4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 式典、表彰、講演、懇親会		
事業費	130,000 円 (市町村等委託・補助金 円含む) 【経費内訳】 記念品他12,000円 謝礼他15,000円 懇親会41,000円 その他12,000円 ※参加者負担 弁当代		
事例紹介	長年協会に功績のあった会員を表彰し、記念品を贈呈(団体育成) 障がいを克服して自立し、他の会員の模範となっている会員を表彰し、記念品を贈呈 参加者をできるだけ多く募るため、市が所有するバスでの送迎や懇親会を開催 個人負担は弁当代金のみで、懇親会の経費は協会費から支出 来賓として、市長、議長、県会議員等へ案内 市長、議長には祝辞を述べてもらい、県会議員からも一言述べてもらう 式典終了後には懇親会を開催し、余興等を披露して楽しんでいる。		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：由利本荘市身体障害者協会

(実施支部名) 鳥海支部

事業名	ふれあいスポーツ	事業開始年度	平成21 年度
事業区分	社協等との共同		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・小学生</p> <p>2 実施時期 毎年 8月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 16人・小学生 18人=合計 34人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 鳥海小学校児童とグランドゴルフ・昼食交流を実施 会員の健康増進・相互交流・社会参加が目的 子供達に障がい者の生活を理解してもらい、共に生きることを学び、考え 思いやりの心を育ててもらおう。</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">53,060 円 (市町村等委託・補助金 35,060 円含む)</p> <p>【経費内訳】 賞品(参加賞等)18,000円 弁当・飲食代28,800円 消耗品費5,000円 傷害保険料1,260円 ※参加者負担：無し</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：由利本荘市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	スポーツ交流会	事業開始年度	平成17年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 7月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 70人・左記以外 5人=合計 75人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) グランドゴルフ</p>		
事業費	130,000 円 (市町村等委託・補助金 円含む)		
	<p>【経費内訳】</p> <p>参加賞等35,000円</p> <p>傷害保険料2,500円</p> <p>懇親会23,000円</p> <p>その他6,000円</p> <p>※参加者負担：弁当代</p>		
事例紹介	<p>市のバスを借用し送迎。競技終了後に懇親会を開催。懇親会場で入賞者に賞品を贈呈 (個人競技・団体競技)</p> <p>参加賞(全員)の他、様々な商品を準備(安価な品物を、できるだけ数多く準備)</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：由利本荘市身体障害者協会

(実施支部名) 本荘支部

事業名	スポーツ交流会<2>	事業開始年度	平成17 年度
事業区分	① 協会 ② 市町村委託・補助		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 年間3～4回程度</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 60人・会員家族 2人・左記以外 3人=合計 65人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) フライングディスク、卓球バレー、グランドゴルフ等 普段身体を動かすことが少ないので体力増進を図りながら、 会員相互の交流を深めている。</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">36,000 円 (市町村等委託・補助金 36,000 円含む)</p> <p>【経費内訳】 賞品、参加賞等 ※参加者負担：弁当代</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：由利本荘市身体障害者協会

(実施支部名) 岩城支部

事業名	岩城支部日帰り視察研修	事業開始年度	平成18年度
事業区分	支部単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・民生児童委員</p> <p>2 実施時期 毎年 9月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 12人・左記以外 4人=合計 16人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) ①他地域へ出かけ、施設等の見学や研修参加により、会員相互の交流を深める。 ②地域の民生児童委員へ参加を依頼し、支部会員と交流し、また必要に応じて相談に対応してもらう。</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">66,004 円 (市町村等委託・補助金 80,000 円含む)</p> <p>【経費内訳】 食事・飲代65,280円 保険料560円 郵送料164円 ※参加者負担 弁当代</p>		
事例紹介	<p>①一年間事業へ参加がなかった会員へは、商品券500円分を配布。 ②身障手帳申請時等に行政窓口で協会入会を勧めてもらう。 ③事業で使用する車を行政や社協に手配してもらう。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：由利本荘市身体障害者協会

(実施支部名) 東由利支部

事業名	東由利支部一日研修	事業開始年度	平成26年度
事業区分	支部単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・民生児童委員</p> <p>2 実施時期 毎年10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 人・会員家族 人・左記以外 人=合計 人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 総会時に出席会員から研修先(見学・視察場所等)の希望を伺い、役員会等で場所・開催時期を検討、実施している。会員の年齢や体調を考慮し、日帰り旅行で参加を募っている。</p>		
事業費	<p>一人5,000円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 <一人あたり> 食事代3,000円(自己負担) 飲物代1,000円(支部負担) 施設入館料等1,000円(支部負担)</p>		
事例紹介	<p>ここ数年実施していなかったが、新規会員獲得のため、このような活動を楽しんでいることを手帳所持者にPRしたい(H26計画 男鹿水族館GAO～磯野家旅館)。</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	潟上市身体障がい者協会		
所在地 (事務局)	〒010-0201 潟上市天王字上江川47-441 天王福祉センター内		
電話番号	018-878-6538	FAX番号	018-878-7127
組織体制 (名称)	総会 理事会		
H26会員数	208人	手帳所持者数	1,621人 加入率 12.83%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 (単位：千円) 会費190、助成金：市250、繰越金168 2 主な支出 (単位：千円) 会議費70、事業費390、事務費40、慶弔費45、県協会負担金41 3 主な事業 一泊研修旅行、グランドゴルフ大会、会員日帰り交流会、お楽しみ会		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 社協職員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：潟上市身体障がい者協会

(実施支部名)

事業名	総会	事業開始年度	平成18年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 4月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 35人・会員家族 4人・左記以外 2人=合計 41人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 開会、黙とう、会長あいさつ、来賓あいさつ、議長選出、協議案件、閉会、懇親会</p>		
事業費	<p style="text-align: right;"><u>60,000</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 弁当代、飲物代、菓子代 ※参加者負担：無し</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：潟上市身体障がい者協会

(実施支部名)

事業名	会員一泊研修会	事業開始年度	平成18年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 6月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 17人・会員家族 1人・左記以外 2人=合計 20人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載)</p> <p>①青森県大鰐温泉 宿泊</p> <p>②コース 十和田湖休屋→黒石伝承工芸館→鱒ヶ沢海の駅→ウェスパ樺山</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">315,000 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 宿泊代、茶菓代、高速代、旅行傷害保険、写真代 ※参加者負担 弁当、飲物、車代</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：潟上市身体障がい者協会

(実施支部名)

事業名	日帰り交流会	事業開始年度	平成18 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 26人・会員家族 3人・左記以外 4人=合計 33人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 三種町砂丘温泉「ゆめろん」で交流会</p>		
事業費	<p style="text-align: right;"><u>168,000</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 昼食飲食費 ※参加者負担 昼食飲食代</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：**潟上市身体障がい者協会**

(実施支部名)

事業名	新春お楽しみ会	事業開始年度	平成18 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 1月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 39人・会員家族 5人・左記以外 2人=合計 46人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) 潟上市飯田川公民館で実施 民謡鑑賞、輪投げ、カラオケ、ビンゴゲーム</p>		
事業費	<p style="text-align: right;"><u>53,000</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 昼食飲食費 ※参加者負担 無し</p>		
事例紹介			

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	大仙市身体障害者福祉協会		
所在地 (事務局)	〒大仙市大曲花園町1-1 大仙市福祉事務所内		
電話番号	0187-63-1111	FAX番号	0187-63-8811
組織体制 (名称)	代議員総会 理事会 役員会		
H26会員数	532人	手帳所持者数	5,241人 加入率 10,15%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 (単位：千円) 会費118、事業参加費172、補助金：市404、繰越金61 2 主な支出 (単位：千円) 会議費40、事務費30、福祉大会150、スポーツ大会80、健康講話55 軽スポーツ40、事業昼食費160、会計手当15、県協会負担金127 3 主な事業 福祉大会、グランドゴルフ大会、健康講話、生活安全教室、軽スポーツ		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費1,000 1,200 1,500円 (本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 役場職員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：大仙市身体障害者福祉協会

(実施支部名)

事業名	グランドゴルフ大会	事業開始年度	—	年度	
事業区分	協会単独				
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 9月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 47人・会員家族 1人 = 合計 48人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) グランドゴルフを楽しみながら、健康づくりと会員の交流を図る 「一般コース」と「ゆっくりコース」に分れて実施 参加者が昼食を取る間に事務局で集計し、その後に表彰セレモニーを行う</p>				
事業費	75,081 円 (市町村等委託・補助金)				円含む)
	<p>【経費内訳】</p> <p>弁当代25,000円 ※参加者負担：弁当代、賞品代の一部</p> <p>傷害保険料4,800円</p> <p>賞品代43,628円</p> <p>氷・紙コップ1,653円</p>				
事例紹介	<p>動作に不自由のある人は、本人の選択により「ゆっくりコース」で。 コース別に表彰し、賞品はできるだけ多く行き渡るように「各賞」を準備する。 使用料免除になる会場で実施し、経費節減を図っている。</p>				

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	北秋田市身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒018-3312 北秋田市花園町16-1 北秋田市社会福祉協議会内		
電話番号	0186-69-8025	FAX番号	0186-63-2460
組織体制 (名称)			
H26会員数	524人	手帳所持者数	2,219人 加入率 23,61%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入 (単位:千円) 補助金:市450、助成金:共同募金75、事業参加費80、支部負担金56 繰越金14</p> <p>2 主な支出 (単位:千円) 会議費5、事務費20、県福祉大会50、県スポーツ大会30、 スポーツ教室15、市福祉大会220、助成金:支部211・青年部50</p> <p>3 主な事業 スポーツ教室、ケアタウン花の植樹、福祉大会</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額)</p> <p>3 協会事務担当者 社協職員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 無 (以前有)</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：北秋田市身体障害者協会

(実施支部名) 鷹巣支部

事業名	障がい者の社会参加活動と会員交流会	事業開始年度	昭和27 年度
事業区分	社協等との共同		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 9月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 35人・会員家族 3人・社協 3人=合計 41人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) 福祉施設の見学、交流 会員同士の交流</p>		
事業費	約200,000 円 (市町村等補助金 20,000 円含む)		
	<p>【経費内訳】 バスレンタル・燃料代、タクシー代、飲食代 ※参加者負担：昼食代</p>		
事例紹介	<p>普段外出しない会員も交流会を楽しみにしており、積極的に参加する人が多い。会員同士の交流の機会が少ないため、この交流会は非常に意義がある。</p> <p>近隣の市町村で行うため、その地域に住む人々との交流がある。今年度は鹿角市へ行き、福祉施設を見学し、利用者及び職員と交流した。</p> <p><課題>高齢者が多く、参加すること自体が厳しくなってきた。 また、日帰りでの活動のため、スケジュールが詰まり、移動等が大変である。</p> <p><会員以外の参加>介護が必要な会員が参加する際、社協職員やボランティア団体に同行してもらう。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：北秋田市身体障害者協会

(実施支部名) 森吉支部

事業名	会員及び家族交流座談会	事業開始年度	平成7 年度
事業区分	社協等との共同		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 32人・会員家族 2人・左記以外 2人=合計 36人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) 懇親会</p>		
事業費	121,046 円 (市町村等委託・補助金 円含む)		
	<p>【経費内訳】</p> <p>飲食代119,750円</p> <p>保険料1,296円</p> <p>※参加者負担 飲食代</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：北秋田市身体障害者協会

(実施支部名) 森吉支部

事業名	森吉支部体育大会	事業開始年度	平成7 年度
事業区分	社協等との共同		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族・民生児童委員</p> <p>2 実施時期 毎年 6月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 23人・会員家族 1人・左記以外 13人=合計 37人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 民生児童委員、市社協が協力 午前 体育大会(玉入れ・輪ゴム運びリレー・宝探し競争等の室内競技) 午後 懇親会</p>		
事業費	46,053 円 (市町村等委託・補助金 円含む)		
	<p>【経費内訳】</p> <p>会場使用料6,300円 景品代6,156円</p> <p>バス燃料代1,789円</p> <p>バス運転謝金5,000円</p> <p>弁当・飲物代26,808円</p> <p>※参加者負担 弁当・飲物代</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：北秋田市身体障害者協会

(実施支部名) 合川支部

事業名	障害者支援施設との福祉交流会	事業開始年度	— 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 16人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 施設利用者とゲームで交流し、終了後は懇親会を開催</p>		
事業費	<p style="text-align: right;"><u>15,000</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 送迎運転手代5,000円 飲み物代10,000円 ※参加者負担 弁当代</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：北秋田市身体障害者協会

(実施支部名) 森吉支部

事業名	森吉支部役員研修会	事業開始年度	平成7 年度
事業区分	社協等との共同		
事業内容	<p>1 参集対象者 理事・評議員</p> <p>2 実施時期 毎年 12月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 15人・左記以外 1人=合計 16人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 視察研修、懇親会</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">27,859 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 飲食代20,496円 バス燃料代2,363円 バス送迎謝金5,000円 ※参加者負担 飲食代</p>		
事例紹介			

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	にかほ市身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒018-0101 にかほ市象潟町字浜山121-1 にかほ市社協象潟支所内		
電話番号	0184-43-2543	FAX番号	0184-43-6071
組織体制 (名称)	会長—副会長2名—支部長—3名—理事25名—会員 —事務局1名 —監事2名		
H26会員数	196人	手帳所持者数	1,208人 加入率 16,23%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 (単位：千円) 会費190、助成金：市社協180、繰越金15 2 主な支出 (単位：千円) 会議費57、事務費23、体育大会20、会員研修15、福祉大会30、 親睦会45、慶弔費30、報償費90、県協会負担金30 3 主な事業 スポーツ教室、会員研修会、奉仕活動 (公園清掃)		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 会員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：にかほ市身体障害者協会

(実施支部名) 仁賀保支部

事業名	年末忘年会	事業開始年度	平成22 年度
事業区分	支部単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 12月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 15人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) 会員の交流、親睦(カラオケ、踊り)</p>		
事業費	二 円 (市町村等委託・補助金 円含む)		
	<p>【経費内訳】 参加者負担 1人1,000円</p>		
事例紹介	<p>新規会員の獲得にあたっては、役場窓口で手帳交付時に協会への加入をパンフレットを差し上げて勧めてもらおうと同時に、身近にいる各地区担当理事に頼るしかないのが現状です。(これを始めて4名の新規加入あり)</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	仙北市身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒014-1201 仙北市田沢湖生保内字宮ノ後39 仙北市社協田沢湖支所内		
電話番号	0187-43-1368	FAX番号	0187-43-1373
組織体制 (名称)			
H26会員数	185人	手帳所持者数	1,790人 加入率 10,34%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入 (単位：千円) 会費98、補助金：市100、助成金：市社協73、事業参加費305 繰越金23</p> <p>2 主な支出 (単位：千円) 会議費15、事務費15、研修費10、事業費507、県協会負担金45</p> <p>3 主な事業 グランドゴルフ大会、福祉大会</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額)</p> <p>3 協会事務担当者 社協職員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：仙北市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	仙北市身体障害者福祉大会	事業開始年度	—	年度	
事業区分	協会単独				
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 11月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 35人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載)</p> <p>①当会の役員・会員として会の発展のために尽力された方を表彰して功績を称えている</p> <p>②障害者自らが諸問題への関心を深めとともに、会員相互の親睦を図るため懇親会を行う</p> <p>③講話、昔っこ語りを聞き、笑うことで心身のレフレッシュを図った</p> <p>④市長、県議会議員、福祉事務所長、社会福祉協議会長に出席してもらい、当協会事業に対する理解や激励をもらっている。</p>				
事業費	97,000 円 (市町村等補助金)		100,000 円含む)		
	<p>【経費内訳】</p> <p>賞状・額代</p> <p>講師謝礼</p> <p>懇親会費</p> <p>※参加者負担：飲食代</p>				
事例紹介					

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：仙北市身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	グランドゴルフ大会	事業開始年度	— 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 22人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) ①道具を持っていない会員には協会で準備し、本人の負担にならないようにしている。 ②参加者全員に実用的な景品を準備、参加への意欲を持ってもらう。 ③プレー終了後は、懇親会で親睦を深めている。 ④懇親会には市長、県議会議員を招待し、協会に対する理解と激励をもらっている。</p>		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>83,000</u> 円 (市町村等補助金) 72,900 円含む)</p> <p>【経費内訳】 保険代、景品代、クリスタル製盾代 懇親会費 ※参加者負担：飲食代</p>		
事例紹介			

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	小坂町身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒017-0201 小坂町小坂字上前田7-1 小坂町社協内		
電話番号	0186-29-3221	FAX番号	0186-29-3218
組織体制 (名称)	総会、役員会 会長・副会長2名・理事8名(正副会長含)・監事2名・地区世話人10名		
H26会員数	65人	手帳所持者数	380人 加入率 17,11%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入(単位:千円) 会費43、事業参加費100、助成金:町12、繰越金94 2 主な支出(単位:千円) 会議費62、県大会費21、旅費10、事業費100、義援金・香典15 事務費20、県協会負担金10 3 主な事業 役員と世話人の懇談会、世話人による会員訪問・会費徴収、スポーツ教室 わいわいエリア勉強会、ぶどう狩り、交流会		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 有/年3回 2 会員の年会費 700円(本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 社協職員(以前は役場職員) 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：小坂町身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	会員交流会	事業開始年度	26 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 19人・会員家族 3人・左記以外 2人=合計 24人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 青森県黒石市 黒石温泉で日帰り交流会(活動報告、会員近況報告) 隣接する津軽こけし館見学、道の駅虹の湖散策 他</p>		
事業費	84,750 円 (市町村等委託・補助金 円含む)		
	<p>【経費内訳】</p> <p><収入>参加者会費72,000円 <支出>交流会75,000円 協会費12,750円 使用料他9,750円 ※参加者負担：飲食代</p>		
事例紹介	<p>①会費納入時にタオルを贈呈 ②総会時に町長、社協会長等へ出席依頼 ③秋のぶどう狩りと交流会の開催 ④会員から、障害者週間に合わせた活動ができないか提案がある <その他> ①行事へ参加する会員が固定化されているが、他協会でもこの傾向があるか。 ②協会会員が自ら協会事務局を担い、主体的に活動されている市町村協会があれば、取り組み状況を知りたい。</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	上小阿仁村身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒018-4421 上小阿仁村小沢田字向川原80 上小阿仁村社協内		
電話番号	0186-77-3057	FAX番号	0186-77-2945
組織体制 (名称)	総会		
H26会員数	95人	手帳所持者数	241人 加入率 39,42%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入 (単位:千円) 会費94、事業参加費102、補助金:社協30、繰越金32</p> <p>2 主な支出 (単位:千円) 移動研修会129、新年会85、県協会負担金6</p> <p>3 主な事業 総会・移動研修、親睦レクリエーション</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額)</p> <p>3 協会事務担当者 社協職員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 無</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：上小阿仁村身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	総会並びに移動研修会	事業開始年度	—	年度	
事業区分	協会単独				
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 5月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 14人・左記以外 2人=合計 16人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) ①移動研修会として、井川町「国花苑」を訪問 ②大湊村「ホルダー湯の湯」で総会及び懇親会</p>				
事業費	47,630 円 (市町村等委託・補助金)				円含む)
	<p>【経費内訳】</p> <p>参加者負担：1人1,500円</p> <p>不足分協会負担</p> <p>部屋料理@2,200円</p> <p>入浴代@300円</p> <p>※職員・運転手にも料理提供</p>				
事例紹介	<p>参加者が高齢化してきたことに加え、一人での歩行が困難な会員も多く、更に入浴もあるため、社協職員2名(男女)が同行している。</p>				

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：上小阿仁村身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	移動研修	事業開始年度	— 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 11月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 20人・左記以外 2人=合計 22人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 事前に視察地を決め、村の福祉バスで訪問 入浴及び懇親会</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">76,568 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 参加者会費2,000円 不足分協会で負担 和食膳@2,500円 入湯料@500円 ※職員・運転手にも食事を提供</p>		
事例紹介	<p>参加者が高齢化してきたことに加え、一人での歩行が困難な方も多く、更に入浴もあることから、村社協職員2名(男女)が同行している。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：上小阿仁村身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	秋田県身体障害者福祉大会への参加	事業開始年度	—	年度	
事業区分	協会単独				
事業内容	1 参集対象者 会員 2 実施時期 毎年 7月頃 3 前回参加人員(概数) 会員 9人・左記以外 1人=合計 10人 4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 村の福祉バスで参加(利用申請必要)				
事業費	11,000 円 (市町村等委託・補助金)				円含む)
	【経費内訳】 参加者負担：昼食弁当代1,000円 不足分は協会が負担 ※職員・運転手にも提供				
事例紹介	県民会館のバリアフリーの関係で、会員の中でも元気な方に限定されるので、参加人数は少ない。				

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：上小阿仁村身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	秋田県障害者スポーツ大会への参加	事業開始年度	— 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・一般障害者</p> <p>2 実施時期 毎年 9月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 11人・左記以外 3人=合計 14人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) ①スポーツ大会参加者(昨年2名)と応援会員に加え、村が窓口となっている知的障害者(大会参加1名)とその家族が参加 ②スポーツ大会への手配・準備は、全て村社協が行っている。</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">15,000 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 弁当1,000円(参加者負担500円) 不足分は協会で負担 ※運転手にも提供</p>		
事例紹介	参加者が固定化されてきている		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	藤里町身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒018-3203 藤里町大沢字蕨台117		
電話番号	0185-79-1195	FAX番号	-
組織体制 (名称)	総会、役員会		
H26会員数	157人	手帳所持者数	272人 加入率 57.72%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入 (単位：千円) 会費109、補助金：社協30・町80、ジュース販売60、繰越金51</p> <p>2 主な支出 (単位：千円) 会議費20、事務費20、旅費40、総会87、研修60、奉仕活動60 大会費30、県協会負担金7</p> <p>3 主な事業 体育大会、自然観察会、友愛訪問、新年のつどい、交流研修会、演劇鑑賞会 墓地公園植木剪定奉仕活動、環境美化運動</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額)</p> <p>3 協会事務担当者 会員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	三種町身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒018-2406 三種町大口字上ノ沢17-4 さざなみ苑内		
電話番号	0185-85-3121	FAX番号	0185-85-3662
組織体制 (名称)	総会 役員会		
H26会員数	360人	手帳所持者数	1,247人 加入率 28.87%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 (単位: 千円) 会費300、補助金: 社協30・町89、事業参加費300 2 主な支出 (単位: 千円) 会議費80、事業費200、事務費110、支部助成金 (50×3支部) 旅費25、慶弔費25、県協会負担金30 3 主な事業 スポーツ教室、スポーツ交流会、福祉大会及び軽スポーツレクリエーション、 日帰り研修会、		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 福祉団体事務職員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 無		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：三種町身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	身障者福祉大会及び軽スポーツレクリエーション	事業開始年度	平成23 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族・議会行政</p> <p>2 実施時期 毎年 9月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 30人・会員家族 5人・左記以外 6人=合計 41人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載)</p> <p>①10時～11時30分 軽スポーツレクリエーション(卓球バレー・フライングディスク)</p> <p>②12時～12時30分 社協ヒアリング</p> <p>③12時30分～13時 式典</p> <p>④13時10分～14時30分 交流会・懇親会</p>		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>61,615 円</u> (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】</p> <p><収入> 参加者会負担金：一人1,500円 共同募金会助成金 寸志</p> <p><支出> 弁当代、飲み物代 参加賞代</p>		
事例紹介			

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：三種町身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	日帰り研修	事業開始年度	平成20 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 23人・会員家族 3人・左記以外 3人＝合計 29人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) LL財団一介護講座「福祉用具にふれてみよう」講座 介護ベット、車イス、介護用品の見学と説明 昼食・懇親会 秋田市「さとみ温泉」</p>		
事業費	123,395 円		(市町村等委託・補助金 円含む)
	<p>【経費内訳】</p> <p><収入> 参加者会費 協会負担</p>	<p><支出> 飲食代 お土産代(LL財団へ)</p>	
事例紹介	<p>①手帳の交付時に、町の担当者から協会の「入会チラシ」を配布してもらっている。その結果、数名の入会申し込みがあった。</p> <p>②平成24年度町の協力により町の広報紙と一緒に「会員募集のチラシ」を全戸配布してもらった。その結果、数件の問い合わせがあったが、会員の加入には結びつかなかった。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：三種町身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	スポーツ教室	事業開始年度	平成22 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 6・7・8月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 18人・左記以外 2人=合計 20人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 県協会10月開催の軽スポーツレクリエーション大会に向けて、6~8月の月1回、卓球バレーとフライングディスクのスポーツ教室を開催している。</p>		
事業費	<p style="text-align: right;"><u>18,600</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 車代とお茶代 参加者負担金：無し</p>		
事例紹介			

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	八峰町身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒018-2637 八峰町八森字家の後6-4 八峰町社協内		
電話番号	0185-77-3318	FAX番号	0185-77-3318
組織体制 (名称)	総会 理事会 役員会 代議員会（役員選出地区以外の地域世話人） 監事会		
H26会員数	200人	手帳所持者数	490人 加入率 40,82%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入（単位：千円） 会費200、助成金：社協20・町81、繰越金16、特別会計繰入金50、 事業参加費42 2 主な支出（単位：千円） 会議費50、旅費25、事務費30、事業費160、地区世話人活動費125 県協会負担金13 3 主な事業 スポーツ教室、一泊研修旅行（函館市）、日帰りバス研修（青森リンゴ狩り） 役員・地区世話人合同研修会		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 有 / 年3回 2 会員の年会費 1,000円（本部・支部に会員が負担する合計金額） 3 協会事務担当者 社協職員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

協会名：八峰町身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	会員バス一泊研修旅行	事業開始年度	平成9 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族・会員友人</p> <p>2 実施時期 毎年 7月～8月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 21人・会員家族 4人・左記以外 5人＝合計 30人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載)</p> <p>会員が力を合わせて身体の障害を克服するとともに、お互いに助け合いの精神を発揮し、会員同士の親睦交流と見聞を広めることにより会員の自立と社会参加を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通手段は町有研修バス又は観光バス、フェリー等を利用 これまで東北5県(福島県を除く)、北海道函館市を訪問 【1日目】午前移動～昼食～研修(施設や工場等の見学)～ホテルにて親睦会 【2日目】午前観光～昼食～買い物～帰路 旅行業者又は社協職員が参加者を引率(全員が旅行傷害保険に加入) 		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>570,000</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】</p> <p>宿泊費：300,000円(1万×30名) 旅行傷害保険料：15,000円</p> <p>昼食代：186,000円 車中飲食代・他：15,000円</p> <p>施設入館料：24,000円</p> <p>有料道路・遊覧船利用料：30,000円</p> <p>※参加者負担の有無と内訳 <u>有</u>・無 参加者の負担部分 <u>弁当代、車代、</u></p>		
事例紹介	<ul style="list-style-type: none"> ●手帳所持者の情報収集⇒社協、地域住民からの情報収集 ●役場から運営費補助金として81,000円、社協から事業費助成金として20,000円 ●事業で使用する車の手配は社協が行う(町有研修バス・ホテル等の送迎バス・社協活動車等) ●各地域ごとに代議員としての地域世話人を配置し、事業案内や各種チラシ等の配布の際に訪問・交流 ●総会には首長・社協会長へ出席依頼 ●自主財源確保のために「日身連」のお茶の販売事業を実施(年間約50,000円程度の収益有) ●会員の死去に際し弔電を送る ●外出できない会員に代わり、家族の方が参加できる事業や参加しやすい雰囲気づくりを心掛けています。 ●バス・車での送迎の際は、可能な限り会員の自宅前で乗降している ●年に3回は研修やレクリエーションで町外に出ており、その行先を毎回変えるなど工夫している ●町内の送迎だけでも時間がかかるので、町外への移動の際は高速道路を利用する機会が多い ●健康増進(スポーツレクリエーション)にも力を入れ、能代山本地区内での講習や県主催の大会への参加、町内での交流会を積極的に実施している 		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	五城目町身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒018-1746 五城目町小池字岡本下台33-4		
電話番号	018-852-2468	FAX番号	-
組織体制 (名称)	会長一副会長 支部長一副支部長一事務局会計一会員（7支部毎に） 監事2名		
H26会員数	81人	手帳所持者数	723人 加入率 11,20%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入（単位：千円） 会費135、助成金：社協50、事業参加費90 2 主な支出（単位：千円） 会議費65、事務費28、役員研修会15、県福祉大会15、 会員研修旅行80、軽スポ練習会30、支部助成金27 3 主な事業 研修旅行、忘年会、新年会		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 有/年1回 ※協会創立25周年記念誌 2 会員の年会費 1,500円（本部・支部に会員が負担する合計金額） 3 協会事務担当者 会員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：五城目町身体障害者協会

(実施支部名)

事業名	研修バス旅行	事業開始年度	平成10 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族・一般障害者</p> <p>2 実施時期 毎年 9～10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 25人・会員家族 1人＝合計 26人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 各地の有名神社、仏閣を見学 H26は県立博物館、県立水族館、</p>		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>15～20万 円</u> (市町村等委託・補助金 5万 円含む)</p> <p>【経費内訳】 主に懇親会費 送迎用バスは、できるだけ役場から借りる(27人乗) 送迎が無料であるホテル・旅館で行う ※参加者負担：飲食代</p>		
事例紹介	<p>①総会案内＝町長、議長、社協会長、県会議員、会員</p> <p>②協会運営と会員獲得＝町内の7地区に7支部を設置し、その支部長を先頭にその地区の特色ある活動を一任し、会員の親睦と会員の獲得を図っている。</p> <p>③手帳所持者の情報収集と役場・社協からのバックアップ＝平成20年10月1日に作成した「秋田県身体障害者福祉協会の市町村身体障害者への入会促進について(依頼)」の通知を町障害福祉課から手帳交付者に配布してもらうように依頼している。</p> <p>④会員への訪問＝各支部で会費を集金できない方には、五城目町身障協会伊藤会長が自ら集金に訪問している。</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	大潟村身体障がい者協会		
所在地 (事務局)	〒010-0494 大潟村字中央1-1 大潟村住民生活課内		
電話番号	0185-45-2114	FAX番号	0185-45-2162
組織体制 (名称)	総会 役員会		
H26会員数	39人	手帳所持者数	110人 加入率 35.45%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 (単位：千円) 会費39、助成金：社協50、村100、農協35、村バス借上補助金240 事業参加費300、繰越金85 2 主な支出 (単位：千円) 会議費60、研修費400、交流事業80、バス借上げ240、 県福祉大会20、世話人活動費15 3 主な事業 研修旅行(松島)、福祉運動会、福祉大会		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費 1,000円(本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 役場職員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 無		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：大湊村身体障がい者協会

(実施支部名)

事業名	研修旅行	事業開始年度	— 年度
事業区分	村補助		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 6月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 10人・会員家族 2人・左記以外 2人＝合計 14人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 宮城県松島周辺 被災地視察(現地ガイド依頼)、遊覧船乗船、圓通寺、瑞巖寺、五大堂等観光</p>		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>412,986 円</u> (市町村等委託・補助金 118,000 円含む)</p> <p>【経費内訳】 (バス代)</p> <p>宿泊費、食事代、バス代、傷害保険料 有料道路代、駐車料、ガイド料 ※参加者負担：飲食代、宿泊料等</p>		
事例紹介	<p>小型バス(22人乗)に14名の参加であったが、荷物や障がい程度により座席を多く使用することから、スペースに余裕はなかった。 食事場所はテーブル、椅子席で、旅館は洋室を使用し、足の不自由な参加者に喜ばれた。 小型バスには薬飲用の水、救急箱、車イスを備え、随行員は協会事務局の役場職員と看護師資格を持つ職員が同行した。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：大湊村身体障がい者協会

(実施支部名)

事業名	日帰り交流事業	事業開始年度	— 年度
事業区分	協会単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 13人・左記以外 3人=合計 16人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 奥入瀬溪流方面に紅葉散策(24年度)</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">35,659 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 バス代、昼食代、施設代等 ※参加者負担：弁当代</p>		
事例紹介			

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	美郷町身体障害者協会		
所在地 (事務局)	〒019-1404 美郷町六郷字安楽寺354-1		
電話番号	0187-84-4059	FAX番号	0187-84-4059
組織体制 (名称)	役員会		
H26会員数	311人	手帳所持者数	1,472人 加入率 21,13%
H26事業計画 収支予算概要	<p>1 主な収入 (単位:千円) 助成金:社協50、町411、繰越金374</p> <p>2 主な支出 (単位:千円) 会議費30、事務費60、総会70、町福祉大会140、 グランドゴルフ大会70、県福祉大会60、研修旅行90、 県スポーツ大会70、慶弔費30、予備費110</p> <p>3 主な事業 グランドゴルフ交流会、福祉大会、会員旅行</p>		
その他 (特記事項)	<p>1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無</p> <p>2 会員の年会費 500円 1,000円 (本部・支部に会員が負担する合計金額)</p> <p>3 協会事務担当者 会員</p> <p>4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	羽後町身体障害者福祉協会		
所在地 (事務局)	〒012-1131 羽後町西馬音内字中野177 羽後町福祉保健課内		
電話番号	0183-62-2111	FAX番号	0183-62-2120
組織体制 (名称)	役員会 評議員会 7支部		
H26会員数	227人	手帳所持者数	1,121人 加入率 20,25%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 (単位:千円) 会費260、事業参加費75、助成金:社協・町120、繰越金377 2 主な支出 (単位:千円) 会議費50、事務費40、体育大会参加20、県福祉大会50、 障害者のつどい200、支会事業推進費26、加入推進費(記念品)72、 機関紙発行10、互助会会計への繰出金52、予備費268 3 主な事業 研修(社協と共催)、障害者のつどい		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 有(不定期) 2 会員の年会費 1,000円(本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 役場職員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：羽後町身体障害者福祉協会

(実施支部名)

事業名	身体障害者のつどい	事業開始年度	昭和56 年度
事業区分	市町村補助		
事業内容	1 参集対象者 会員 2 実施時期 毎年 10～11月頃 3 前回参加人員(概数) 会員 41人・左記以外 3人＝合計 44人 4 具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載) 表彰(自立更生・団体育成・特別賞) 芸能 輪投げ 懇親会		
事業費	128,000 円		(町補助金) 80,000 円含む)
	【経費内訳】 折詰80,000円 飲物18,000円 余興10,000円 賞状等20,000円 ※参加者負担：弁当代相当		
事例紹介	会員相互の交流を目的とし、送迎は福祉バス、又は公用車を利用 来賓は3名(町長、社協会長、民生児童委員協議会長) 県協会主催の芸術・文化祭出品作品の展示(手芸・写真) 表彰者には記念品の代わりに参加費無料とし、つどいの周知はチラシにて行っている。		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：羽後町身体障害者福祉協会

(実施支部名)

事業名	研修旅行	事業開始年度	平成25 年度
事業区分	社協等との共同		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・会員家族</p> <p>2 実施時期 毎年 初夏の頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 26人・会員家族 3人・左記以外 3人=合計 32人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 福祉バスにて町外の名所を巡っている。 社協やボランティア連合会から手伝いをもらい、旅行の周知はチラシで。 昼食会場の確保が難儀(多人数でイス席使用のため) 記念としてL L判写真を参加者全員に配布</p>		
事業費	<p style="text-align: right;">67,000 円 (社協の補助金) 40,000 円含む)</p> <p>【経費内訳】</p> <p>高速代16,000円 ※参加者負担：弁当代相当</p> <p>昼食代38,000円</p> <p>お茶代4,500円</p> <p>写真代3,500円</p> <p>お土産代5,000円</p>		
事例紹介	<p>会員相互の交流と会員獲得を目的としているため、家族や会員でない障害者も参加対象としている。昨年は、大仙市池田氏庭園を見学し、交渉にて堀田の分家を一般開放日以外に見せてもらった。</p>		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：羽後町身体障害者福祉協会

(実施支部名) 三輪支部

事業名	研修旅行（町内巡り）	事業開始年度	平成23 年度
事業区分	三輪支部単独		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員</p> <p>2 実施時期 毎年 入梅の前後頃 但し、H26は10月実施</p> <p>3 前回参加人員（概数） 会員 22人・左記以外 1人＝合計 23人</p> <p>4 具体的な事業内容（簡潔に箇条書きで記載） 町内の他地区を知るため、伝説や民話を基にバス巡り 町内で唯一の鐘楼堂で梵鐘を突かせてもらった 昼食は茅葺の民家で 町内の旧地主の邸宅を見学</p>		
事業費	28,285 円 （市町村等委託・補助金 円含む）		
	<p>【経費内訳】</p> <p>昼食（そば定食）24,000円</p> <p>飲物（日本酒他）4,285円</p> <p>※参加者負担：昼食代</p>		
事例紹介	<p>今回が4回目の研修旅行であった。</p> <p>第1回大仙市旧池田亭 第2回鈴木家（国重要文化財） 第3回増田の蔵群</p> <p>今回のみ参加者は会員のみとした（車の定員の都合で）</p> <p>バスは町社協から借用</p> <p>見学コースに入っていた1か所が、事前の調査の結果、周辺の草が伸びていたため、役場に依頼し除草してもらった。</p>		

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協会名	東成瀬村身体障害者更生協会		
所在地 (事務局)	〒019-0801 東成瀬村田子内字仙人下30-1 保健センター内社協		
電話番号	0182-47-2700	FAX番号	0182-47-2750
組織体制 (名称)	総会 役員会		
H26会員数	17人	手帳所持者数	169人 加入率 10.06%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 (単位：千円) 会費12、助成金：村20、事業参加費5、繰越金37 2 主な支出 (単位：千円) 会議費20、事業費20、旅費3、事務費8、慶弔費10、社協負担金9 3 主な事業 視察研修、障がい者ふれあいのつどい (社協と共催)		
その他 (特記事項)	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 無 2 会員の年会費 1,200円 (本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 社協職員 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有		

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：東成瀬村身体障害者更生協会

(実施支部名)

事業名	障がい者ふれあいのつどい	事業開始年度	— 年度
事業区分	社協等との共同		
事業内容	<p>1 参集対象者 会員・一般障害者・ボランティア</p> <p>2 実施時期 毎年 10月頃</p> <p>3 前回参加人員(概数) 会員 4人・左記以外 14人=合計 18人</p> <p>4 具体的な事業内容(簡潔に箇条書きで記載) 障がい者の社会参加の促進、ゲームなどのレクリエーションを通じて当事者同士、ボランティア、福祉関係者との交流を図る。</p>		
事業費	<p style="text-align: center;"><u>30,000</u> 円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <p>【経費内訳】 共同募金配分金から支出 ※参加者負担：弁当代</p>		
事例紹介	<p>障がい者ふれあいのつどいは、会員の参加は少数ですが、毎年大変喜ばれています。各ボランティア団体に呼び掛けし、参加してもらっています。今では会員よりボランティアの参加者が多くなりました。</p>		

參考資料編

H26 市町村協会 会員数・手帳所持者数・加入率一覽

(平成26年6月2日現在)

NO	市町村名	会員数	手帳所持者数 (H26.3.31現在)	加入率
1	秋田市	434 人	14,196 人	3 %
2	能代市	300 人	3,188 人	9 %
3	横手市	1,090 人	5,137 人	21 %
4	大館市	399 人	4,627 人	9 %
5	男鹿市	41 人	1,884 人	2 %
6	湯沢市	270 人	2,773 人	10 %
7	鹿角市	145 人	1,824 人	8 %
8	由利本荘市	503 人	4,532 人	11 %
9	潟上市	208 人	1,621 人	13 %
10	大仙市	532 人	5,241 人	10 %
11	北秋田市	524 人	2,219 人	24 %
12	にかほ市	196 人	1,208 人	16 %
13	仙北市	185 人	1,790 人	10 %
14	小坂町	65 人	380 人	17 %
15	上小阿仁村	95 人	241 人	39 %
16	三種町	360 人	1,247 人	29 %
17	八峰町	200 人	490 人	41 %
18	藤里町	157 人	272 人	58 %
19	五城目町	81 人	723 人	11 %
20	大潟村	39 人	110 人	35 %
21	美郷町	311 人	1,472 人	21 %
22	羽後町	227 人	1,121 人	20 %
23	東成瀬村	24 人	169 人	14 %
	合 計	6,386 人	56,465 人	11 %

平成26年度 市町村協会負担金一覧

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

No.	市町村名	手帳所持者数	負担金額
1	秋田市	14,258	356,450
2	能代市	3,209	80,225
3	横手市	5,136	128,400
4	大館市	4,566	114,150
5	男鹿市	1,797	44,925
6	湯沢市	2,799	69,975
7	鹿角市	2,095	52,375
8	由利本荘市	4,511	112,775
9	潟上市	1,613	40,325
10	大仙市	5,113	127,825
11	北秋田市	2,236	55,900
12	にかほ市	1,180	29,500
13	仙北市	1,796	44,900
14	小坂町	392	9,800
15	上小阿仁村	241	6,025
16	藤里町	277	6,925
17	三種町	1,220	30,500
18	八峰町	503	12,575
19	五城目町	719	17,975
20	八郎潟町	408	脱会
21	井川町	330	脱会
22	大潟村	108	2,700
23	美郷町	1,442	36,050
24	羽後町	1,129	28,225
25	東成瀬村	165	4,125
合計		57,243	1,412,625

※平成26年度から平成28年度までの負担金額＝平成25年3月31日現在身体障害者手帳所持者数×係数25

市町村協会負担金の年度別推移

年 度	負担金額(A)	市町村助成金(B)	本部活動資金(A-B)
10年度	3,910,950		3,910,950
11年度	3,932,400		3,932,400
12年度	4,020,150		4,020,150
13年度	4,065,450		4,065,450
14年度	3,751,800		3,751,800
15年度	3,751,800		3,751,800
16年度	3,751,800		3,751,800
17年度	4,010,550		4,010,550
18年度	3,658,270		3,658,270
19年度	2,326,408	1,148,000	1,178,408
20年度	3,039,736	1,500,000	1,539,736
21年度	3,039,736	1,500,000	1,539,736
22年度	2,975,314	1,487,663	1,487,651
23年度	2,975,314	1,487,663	1,487,651
24年度	2,975,314	1,487,663	1,487,651
25年度	2,940,122	1,470,067	1,470,055
26年度	1,412,625		1,412,625

<負担金算出方法>

①平成17年度以前 毎前年度身体障害者手帳所持者数×0.50(50%)×150

②平成18年度 負担金額=A) で積算した金額+イ) で積算した金額

ア) 毎前年度末実会員数÷前年度末身体障害者手帳所持者=加入率

- ・加入率が0%~30%の場合 - 前年度末身体障害者手帳所持者数×50
- ・加入率が31%~60%の場合 - 前年度末身体障害者手帳所持者数×25
- ・加入率が61%~100%の場合 - 前年度末身体障害者手帳所持者数×10

イ) 毎前年度末実会員数×100円

③平成19年度以降 前年度身体障害者手帳所持者数×係数53(3年毎に改訂)

※係数：H19~21：56 H22~24：53 H25：53 H26：25(対比50)

<脱 会> 平成18年/八郎瀧町 平成25年/井川町

秋田県市町村身体障害者協会「活動事例集」作成要項

平成26年6月1日

(福)秋田県身体障害者福祉協会

1 目的

平成25年11月5日に(福)秋田県身体障害者福祉協会の「会員減及び県協会負担金に係る検討委員会」から当協会長へ答申された「市町村協会における会員数の減少対策及び県協会に対する市町村協会の負担金のあり方について」の中で、県協会が取り組むべき事項として、会員数の減少対策の一助とするため、各市町村協会の「活動事例集」の作成取りまとめに努めるよう提言があったことから、これを具現化しようとするものである。

2 作成方法

- (1) 各市町村協会は、別紙様式1「協会の概要」、様式2「活動事例」により原稿を作成する。
- (2) 県協会は、原稿を整理・調整・編集のうえ製本化し、各市町村協会へ「活動事例集」を送付する。
なお、活用しやすい「活動事例集」に仕上げる観点から、必要に応じて当該市町村協会と原稿内容の調整を図ることとする。(※別紙様式等は、PC作成用に県協会HPに掲載)

3 作成スケジュール

- (1) 県協会が各市町村協会に、県内3ブロック会議で作成要項等を説明する時期—平成26年6月
- (2) 県協会が各市町村協会に、原稿の作成を依頼する時期—平成26年7月
- (3) 各市町村協会が県協会に、原稿を提出する期間—平成26年10月末まで
- (4) 県協会が原稿を基に、整理・調整・編集する期間—平成27年2月末まで
- (5) 県協会が製本化し、各市町村協会に送付する時期—平成27年3月末まで

4 活用方法

- (1) 市町村協会は、上記「答申」にある別添「市町村協会における会員数の減少対策」として、今後完成する「活動事例集」を、新たな事業の掘起しや事業拡充のために活用し、さらに、地元行政機関や社協等へ共生のための働きかけにも役立てる。
- (2) 県協会は、「活動事例集」の中に広く市町村協会に波及できるような好例がある場合、モデル事業として具体的に紹介し、市町村協会事業の活性化に寄与する。

5 その他

各市町村協会は、「活動事例集」の作成目的が市町村協会会員数の減少対策の一環であることを念頭に、できるだけ他市町村協会に役立つような記載内容で作成すること。

様式1「市町村身体障害者協会の概要」の作成方法

1 協会名

市町村合併後の協会名を記載してください。

2 所在地（事務局）

※県協会に記載します。

3 電話及びFAX番号

※県協会に記載します。

4 組織体制（名称）

協会組織として設置している組織の名称を記載してください。

5 会員数、手帳所持者数、加入率

※県協会に記載します。

6 事業計画及び収支予算の概要（H26）

6月開催の3地区会長及び事務担当者会議で配布した資料に基づき、※県協会に記載します。

7 その他

空欄には、特記事項があれば記載してください。

（例：行事参加時、会費納入時に記念品を贈呈するなど）

なお、特記事項で具体的な内容は、様式2「活動事例」により作成してください。

様式 1

市町村身体障害者協会の概要

平成26年4月 現在

協 会 名			
所在地 (事務局)	〒 <u>県協会</u> で記載		
電 話 番 号	<u>県協会</u> で記載	F A X 番 号	<u>県協会</u> で記載
組 織 体 制 (名 称)	【総会、代議員会、役員会、理事会、評議員会、支部長会、青年部会、女子部会、〇〇委員会など現在設置している組織名を記載してください】		
H26会員数	<u>県協会</u> で記載 人	手帳所持者数	<u>県協会</u> で記載 人 加入率 <u>県協会</u> で記載%
H26事業計画 収支予算概要	1 主な収入 <p style="text-align: center;"><u>県協会</u>で記載</p> 2 主な支出 <p style="text-align: center;"><u>県協会</u>で記載</p> 3 主な事業 <p style="text-align: center;"><u>県協会</u>で記載</p>		
そ の 他 (特記事項) 該当事項に○付ける	1 協会広報誌作成の有無と発行回数 有・無 / 年 回 2 会員の年会費 <u>県協会</u> で記載 円 (本部・支部に会員が負担する合計金額) 3 協会事務担当者 会員・役場職員・社協職員・その他 () 4 役場が手帳交付する時、協会チラシ等の配布を依頼している 有・無		

様式2「市町村身体障害者協会 活動事例集」の作成方法

1 事業名

事業計画及び予算書にない事例は、活動内容が分かるような名称を付けて記載してください。

なお、支部で実施している事業の場合は、支部名も記載してください。

〈事業例〉福祉大会、スポーツ大会・教室、集い、研修会・旅行、作品展などできるだけ多くの事業を紹介してください。

2 事業開始年度

事業の開始年度が分かれば記載してください。概ねでも可。

3 事業区分

①から③の区分に○を、それ以外の事業は④その他（ ）に内容を記載してください。

4 事業内容

(1) 参集対象者

該当区分に○を、それ以外はその他の（ ）に記載

(2) 実施時期

例年多く開催する時期（月）を記載

(3) 前回参加人員（概数）

区分毎におおまかな参加人数を記載

(4) 具体的な事業内容

事業内容が分かる程度で簡単に記載

5 事業費

(1) 市町村等委託・補助金

市町村、市町村社協などの委託又は補助による特定の事業については、その金額も明示

(2) 経費内訳

事業に対する経費が分かる程度に記載

(3) 参加者の負担部分

事業の参加者に参加費を負担させている場合は、その内容を記載

6 事例紹介

成功・失敗例など他市町村協会が活用できるような内容で記載（2枚目も活用してください）

様式2

市町村身体障害者協会「活動事例」

協会名：

(実施支部名)

事業名		事業開始年度	年度
事業区分 ※該当事項に○	① 協会単独 ② 市町村委託・補助 ③ 社協等との共同 ④ その他 ()		
事業内容 ※該当事項に○	1 <u>参集対象者(該当する全ての事項に○)</u> 会員・会員家族・一般障害者・一般市民・議会行政・その他 () 2 <u>実施時期</u> 毎年 月頃 3 <u>前回参加人員(概数)</u> 会員 人・会員家族 人・左記以外 人＝合計 人 4 <u>具体的な事業内容(簡潔に簡条書きで記載)</u>		
事業費	<p style="text-align: right;">円 (市町村等委託・補助金 円含む)</p> <hr/> 【経費内訳】 ※参加者負担の有無と内訳 有・無 参加者の負担部分 弁当代、飲代、車代、		
事例紹介	<p style="text-align: center;">＜会員獲得、会員・家族の交流、協会運営、新規事業など他協会に参考になる事例＞</p> 会費回収時の記念品贈呈、手帳所持者の情報収集、役場・社協からのバックアップ、事業で使用する車の手配、会員への訪問・交流、大会への首長・議長・議員への出席依頼、会員獲得の名案、青年部・女子部・委員会の設置で組織強化など成功、失敗、苦勞、工夫した「事例」を自由に記載願います。なお、この欄は上記事業に関係する「事例」であれば、この欄に記載し、また、事業に直接関係しない「事例」は、この欄のみ記載してください。		

<発行元>

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

〒010-0922

秋田市旭北栄町1番5号

(秋田県社会福祉会館内)

電話 018(864)2780

FAX 018(864)2781